

心のバリアフリーに関する普及啓発 企画書(案)

「心のバリアフリー」に関する市民アンケートの結果からは、市全体としての認知や理解が十分に進んでいない状況が明らかになりました。(「茅ヶ崎市バリアフリー基本構想中間評価報告書」より)一人ひとりがこの課題を“自分ごと”として捉え、日常の中で行動に移すきっかけをつくる必要があります。

そこで、ポスターも活用し、より多くの人に広く関心を持ってもらう【プレイベント】と、深い学びと実感を届ける【講演会】を連動させ、心のバリアフリーに対する関心・理解・行動を段階的に促進します。

I. 展示&体験型イベント(プレイベント)

1. 狙い

誰もが気軽に立ち寄れる場で「心のバリアフリーってなんだろう?」と関心を持ってもらえるきっかけを提供します。ポスターや体験、当事者の声を通じて、他者が抱える困難を想像し、自分とは異なる条件を持つ多様な他者への理解を自然に深めてもらうことを目指します。

2. 概要(案)

・時 期:1月中旬

・場 所:市内の商業施設(予定)

・日 数:1日

・内 容:

① 「ちがひ」を体験するミニワーク

例)・利き手とは逆の手でメッセージを書く、箸を使ってみる

・声だけで絵を書いてみる

・手話体験 など

② 心のバリアフリーポスター展

市民部会で作成したポスターを展示し、「あなたならどう声をかける?」などの問いをつけて、来場者がふせんで回答

③ 心のバリアフリーの木を育てよう

「こんな時嬉しかった」「あなたが困った時、どうしてほしい?」など、参加者が誰かに助けてもらってうれしかったエピソードなどを書いてもらう

④ まちなかのバリアを取り除く取り組みの紹介

展示またはクイズ形式を検討

※各コーナーをめぐるスタンプラリーを実施

※2月の講演会の周知も実施

II. 講演会

1. 狙い

講演会では、心のバリアフリーに対する理解をさらに深め、日常生活での実践へとつなげる契機とすることを目的としています。

当事者や専門家の視点から語られるリアルな声を通じて、参加者一人ひとりが心のバリアフリーを「自分ごと」として捉え、「自分にできること」に気づく機会を創出します。

2. 概要

- ・時 期:2月上旬～中旬
- ・場 所:茅ヶ崎市役所
- ・内 容:心のバリアフリーについての講演(予定)
- ・その他:会場では「I 展示&体験型イベント」で使用したポスターなどを一部展示する予定